

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	道路橋梁耐震化・長寿命化事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系			根拠法令計画など	道路法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="16"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		道路			
施策	4	安全で快適な道路の整備			
基本事業	3	橋梁の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民・一般交通・物流等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	南海トラフ地震等の大規模災害に備え、避難路等に架かる主要な10橋について、耐震化を図る。 また、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁補修を行い、延命化を図る。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	○道路橋梁耐震化事業 うずしお橋修繕補強工事  ○道路橋梁長寿命化事業 長寿命化修繕設計、長寿命化修繕工事、橋梁定期点検						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		避難対象地区避難路確保人口率	95	95	100	/	/	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	社会資本整備総合交付金を活用し、道路橋梁耐震化事業、道路橋梁長寿命化事業及び橋梁定期点検を実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 耐震化完了橋梁数	7	7	10	/	/	橋
	2 避難路確保人口	22,173	22,173	23,394	/	/	人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	避難対象地区避難路確保人口率	95	95	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)	/	100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	114,422	0	70,300	0	23,328	208,050
		補正予算額	△ 4,807	0	2,100	0	△ 4,493	△ 7,200
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	109,615	0	72,400	0	18,835	200,850
		決算額	75,536	0	47,400	0	14,412	137,348
		繰越額	34,078	0	25,000	0	4,412	63,490
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
	2.5	0.0		18,085		155,433		

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	184,907	137,348	364,550	118,537	159,370
	うち一般財源	17,661	14,412	49,822	5,342	7,217
	人件費	17,833	18,085	18,085	18,085	18,085
	総事業費	202,740	155,433	382,635	136,622	177,455

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		事業の有効性の観点では、概ね有効性はあったが、耐震化工事が繰越となった。
	効率性	A:効率的だった		事業の効率性の観点からすると、特に問題はなかった。
②成果に対する評価	指標名	避難対象地区避難路確保人口率		耐震化工事が繰越となったが、成果指標の観点からすると影響がなかったため、目標は達成できている。
	目標	95	%	
	実績	95	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		全体的には十分な成果をあげることができたといえるが、橋梁耐震化工事が繰越となった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	橋梁耐震化事業については、計画どおり、主要な橋梁10橋の耐震化事業を、平成30年度での完了を目指す。 橋梁長寿命化事業については、引き続き、老朽化した橋梁の予防的な修繕工事を行うことにより、今後増大が見込まれる橋梁の修繕、架替に要する費用を縮減し、計画的な修繕により長寿命化を図る。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	平成29年度からの繰越工事となった「うずしお橋」の耐震化工事の完了を目指すとともに、「学園橋」及び「城山2号橋」の耐震化工事の完了を目指す。			
	H31年度	鳴門市橋梁長寿命化計画の見直しを行い、老朽化した橋梁の延命化に必要な費用の縮減や予算の平準化を図り、計画的な橋梁の修繕を行っていく。			